



84112-XLQ-K1S0 INSIGHT REAR WING

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

[適応車種] I N S I G H T D A A - Z E 2

[色記号]	無限色記号	ホンダ色記号	色名
	BR	BG53M	ブリリアントスカイ・メタリック
	MR	R81	ミラノレッド
	PD	PB83P	プレミアムディープバイオレット・パール
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	SW	NH756P	スペクトラムホワイト・パール
	AS	NH700M	アラバスターシルバー・メタリック
	PO	NH737M	ホリッシュド・メタル・メタリック
	PW	NH624P	プレミアムホワイト・パール
	SH	B549M	シャベットブルー・メタリック
	ZZ	未塗装	サーフェーサー仕上げ

※色記号は左サイドBピラー下部のサービスインフォメーションプレートで確認して下さい

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業課

【営業時間10:00～17:00(土日・祝日を除く)】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

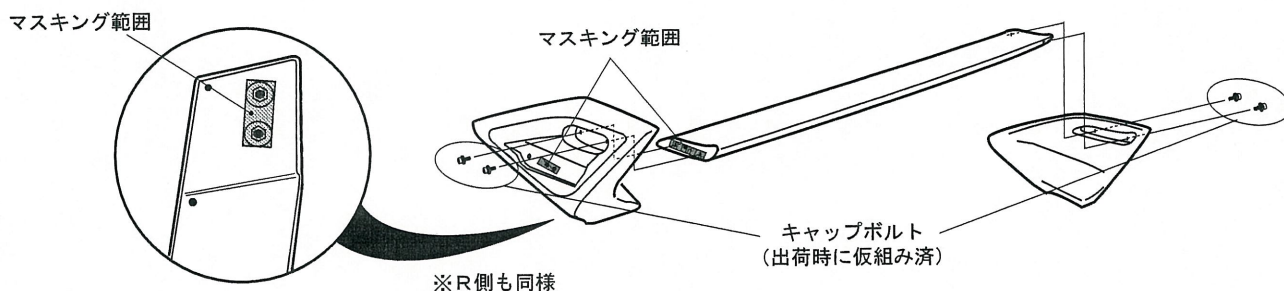
1. リア ウイングが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。リア ウイングに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
4. リア ウイングに手をかけてテールゲートの開閉をしないでください。

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 塗装作業前に必ず車両への仮取り付けを行い、無理無く取り付くことを確認すること。
2. 塗装は、本塗り前に必ず下地処理（足付け研磨・脱脂等）を行うこと。
3. 乾燥は、常温乾燥を推奨する。（強制乾燥での焼付け上限温度は60℃）
4. 塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行うこと。

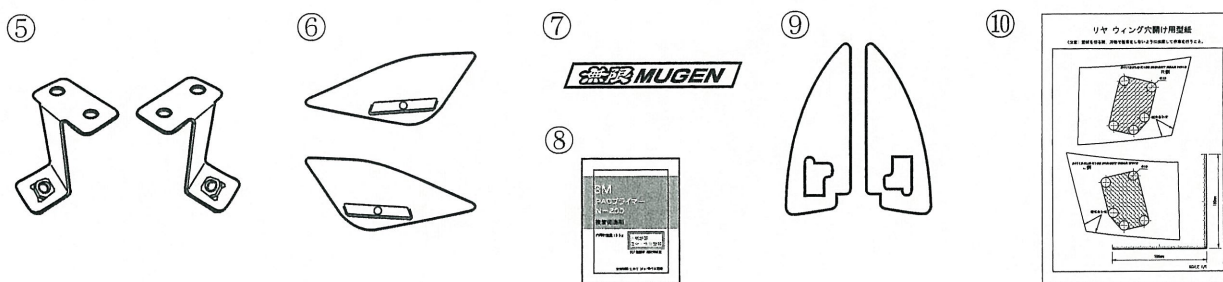
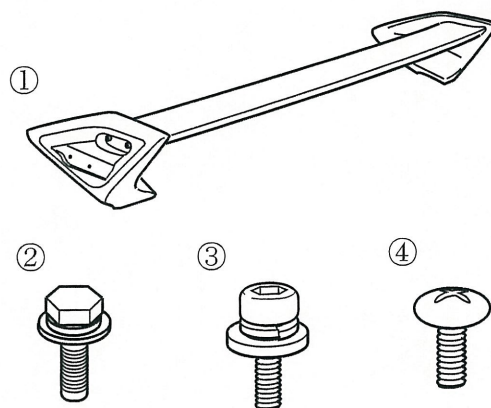
推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

- ・塗装前に仮組みしているキャップボルトを外して塗装すること。（キャップボルトは組み付け時に再利用するので、紛失しないように保管すること）
- ・センターウィングとサイドウィングR、Lは、下記斜線部をマスキングしてから塗装すること。



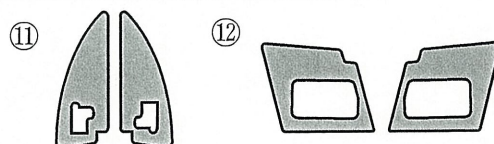
【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	リア ウィング	1
②	ワッシャーボルトM6×20	2
③	キャップボルトM6×15	4
④	トラスボルトM4×10	2
⑤	ステーR/L	各1
⑥	サイドカバーR/L	各1
⑦	無限メタルエンブレム	2
⑧	プライマー	1
⑨	両面テープ t=1.2 (白) R/L	各1
⑩	型紙	1



— 未塗装品のみ —

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑪	両面テープ t=2.5 (赤) R/L	各1
⑫	クッション R/L	各1



【必要工具】

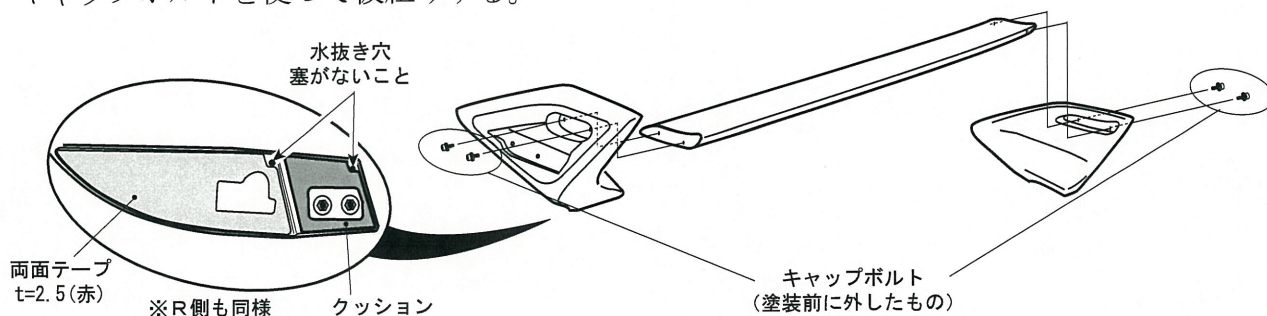
- ・ドリルφ3, 10 ・ドライバー(+) ・ラチェットレンチ8, 10mm ・六角レンチ5mm
- ・ヤスリ ・エアソー ・タッチアップペイント ・水性ペン ・イソプロピルアルコール
- ・マスキングテープ

I. 取付準備

《注意》・リア ウィングおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。

①未塗装品は、塗装後にリア ウィング脚裏にプライマーを塗布し、常温で10分以上放置して乾燥させた後、両面テープ t=2.5 (赤) とクッションを貼り付け、塗装前に外したキャップボルトを使って仮組みする。

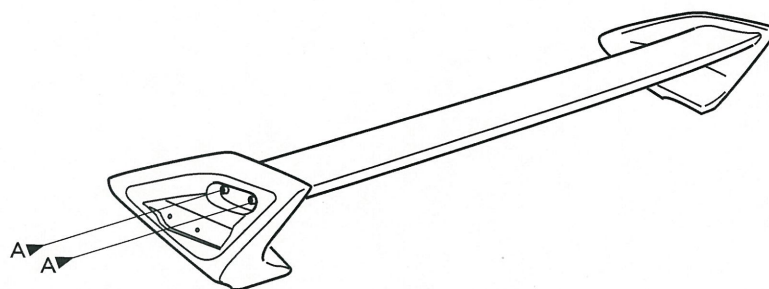


②リア ウィングに取り付けられているキャップボルトAを緩める。(3回転半～4回転)

A (4)



キャップ
ボルト
M6×15
(取り付け済み)



※R側も同様

③テールゲートガーニッシュを取り外す。(サービスマニュアル参照)
ガーニッシュナットを取り外す。(サービスマニュアル参照)
型紙を使って斜線部を切除する。

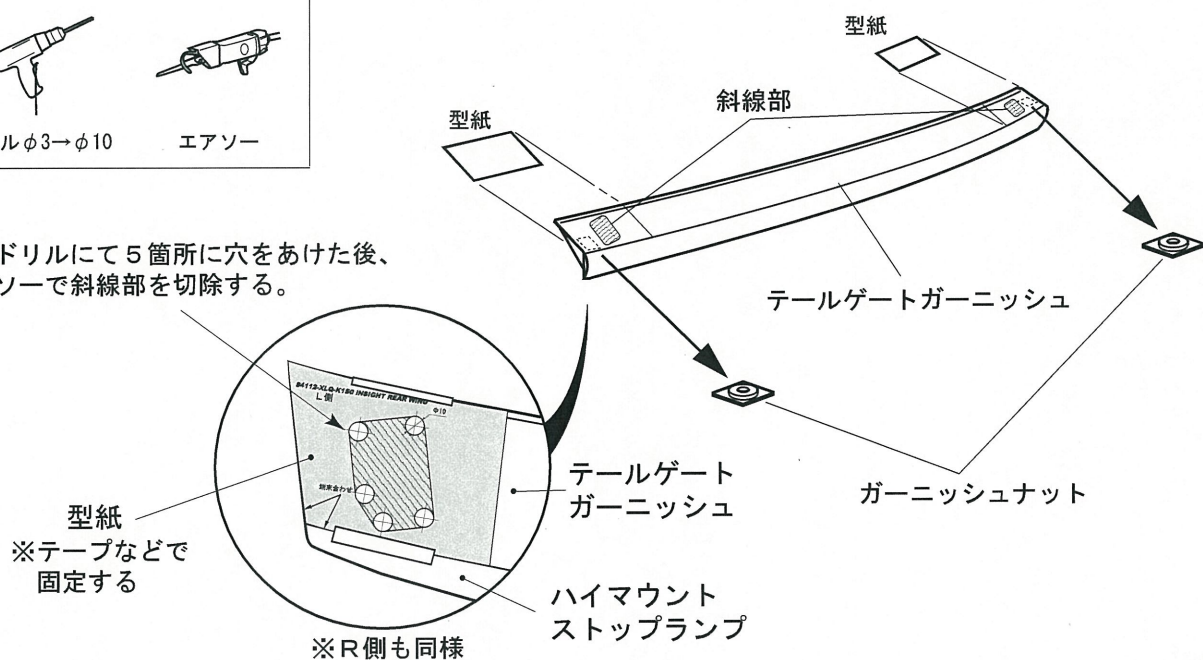


ドリルφ3→φ10



エアソー

φ10ドリルにて5箇所穴をあけた後、
エアソーで斜線部を切除する。

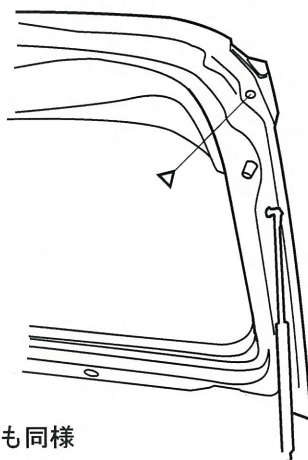


④テールゲートのテールゲートガーニッシュ取付け穴を、ドリルで大きくする。

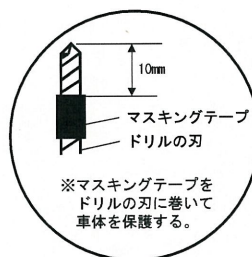
△ (2)



ドリルφ10



※L側も同様



※マスキングテープを
ドリルの刃に巻いて
車体を保護する。

※穴の切り口のバリをヤスリで取り、
タッチアップペイントをする。

⑤キャップボルトBを使って、リア ウィングにテールゲートガーニッシュを取り付ける。

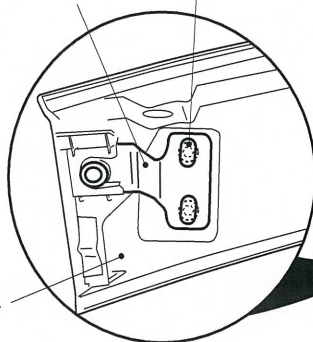
B (4)



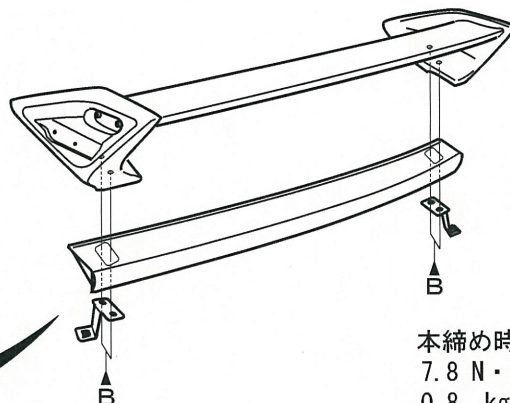
キャップ
ボルト
M6×15

キャップボルト
※はじめは取付穴中央
付近に合わせる

ステー



テールゲート
ガーニッシュ



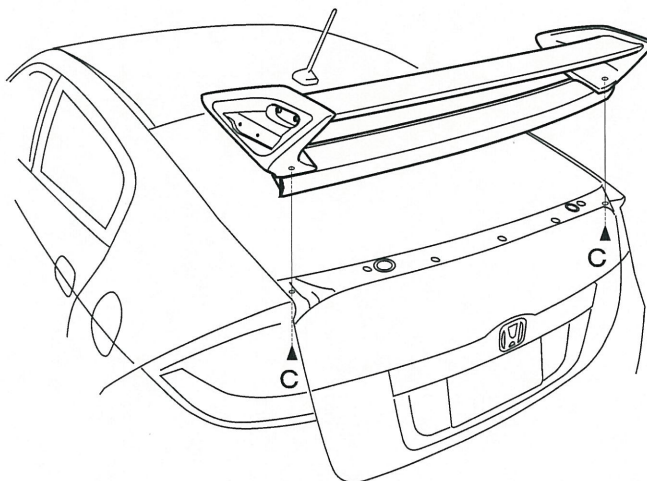
本締め時トルク
7.8 N・m
0.8 kgf・m

⑥両面テープの離型紙を剥さずに、リア ウィングをテールゲートに仮付けする。
テールゲートを開け、ワッシャーボルトCをトルクを掛けずに取り付ける。

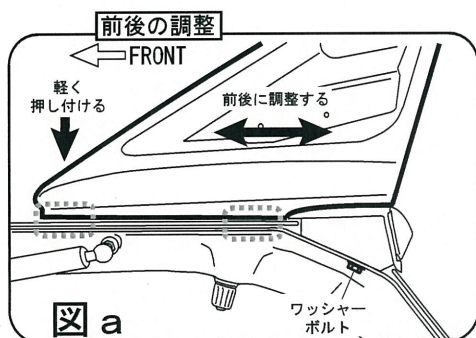
C (2)



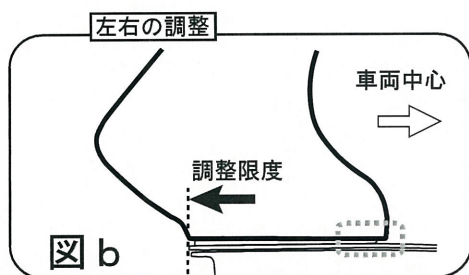
ワッシャー
ボルト
M6×20



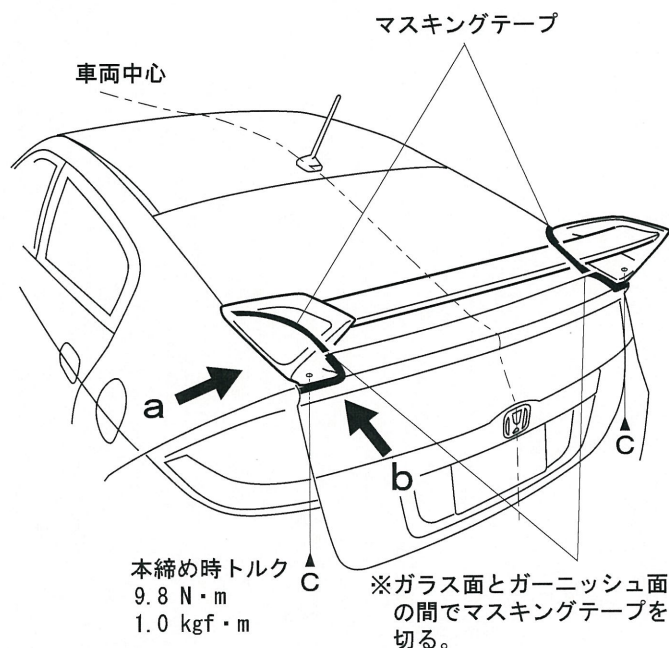
- ⑦リア ウィング脚裏の両面テープ面とガラス面が合う位置で⑥のワッシャーボルトCを本締めし、貼付け位置をマスキングテープでマーキングする。この時、両面テープ貼付け位置にステッカーがある場合は除去すること。（除去したステッカーは再使用出来ないため、必要に応じて購入すること）



※リアウィングを軽く押し付けながら前後に調整して、ワッシャーボルトを締め付けた状態で両面テープの前後に浮きが無いかを確認する



※内側が浮いている場合は、脚端部をガラス端部までを限度に外側へ調整する



本作業にてリア ウィング脚裏両面テープとガラス面が合わない場合

1. リア ウィングを車体から一度取り外し、⑤で装着したステーの取り付け位置を調整して、再度⑥から作業を行う。
2. 1でもリア ウィング脚裏両面テープ後部が浮き上がる場合は、同梱のプライマーをリア ウィング脚裏の両面テープ粘着面に塗布して10分間以上放置乾燥させた後、付属の両面テープ（t=1.2（白））をリア ウィング脚裏両面テープに貼り合わせて十分に圧着し、再度⑥から作業を行う。

※両面テープ前部が浮き上がる場合は、両面テープ（t=1.2（白））を使用しないこと。使用しても浮き上がりが改善しない場合がある。

※圧着不足はリア ウィングの浮き剥がれの原因となるので、確実に行うこと。

- ⑧ワッシャーボルトCを外し、テールゲートガーニッシュとリア ウィングを車体から取り外す。

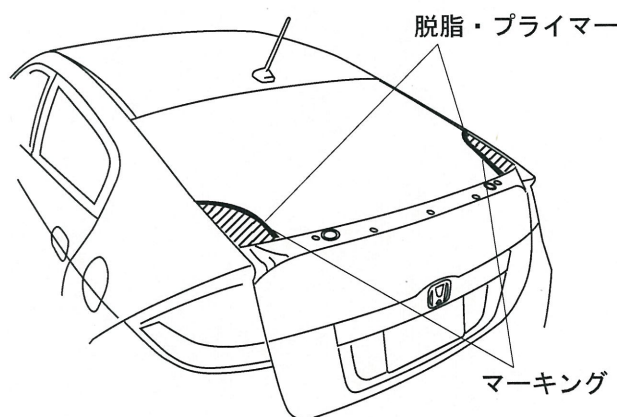
II. リア ウイングの取付

- 《注意》 ・リア ウイングおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様に行うこと。

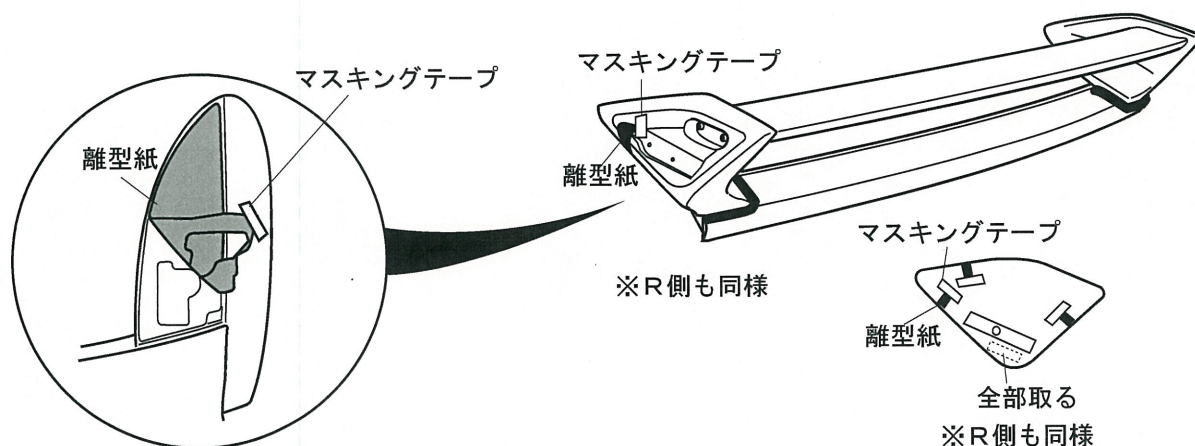


- ・両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下するので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼付け作業を行うこと。
- ・取り付け完了後、3時間以上は強い力をかけないこと。（走行しない。）
- ・取り付け完了後、3時間以上は絶対に雨及び洗車等で濡らさないこと。
- ・取り付け完了後、リア ウイングに手をかけてテールゲートを開閉しないこと。
- ・ガラスコートが塗布されている車両は、ガラス用コンパウンド等でガラスコートを剥離し、脱脂作業を必ず行うこと。
- ・両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマー（同梱）を使用すること。プライマーの効果を発揮させる為、塗布後常温で10分間以上放置し、乾燥させること。

- ①斜線部を、イソプロピルアルコールで脱脂をし、プライマーを塗る。
（プライマー塗布後常温で10分間以上放置し、乾燥させる）



- ②リア ウイングとサイド カバーの両面テープの離型紙を剥がし、外側に折り曲げマスキングテープで固定する。

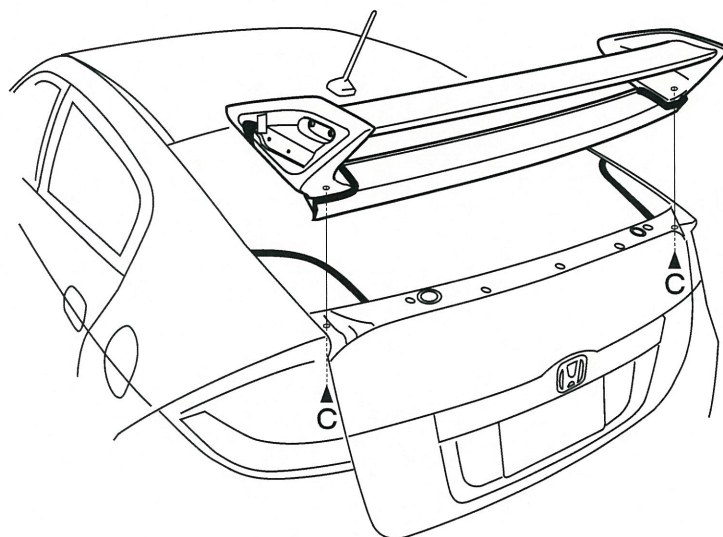


- ③テールゲートを開け、I-⑦で調整した取付け位置にリア ウィングを仮付けする。
ワッシャーボルトCを本締めする。
(テールゲートガーニッシュの取り付けは、サービスマニュアル参照)

C (2)

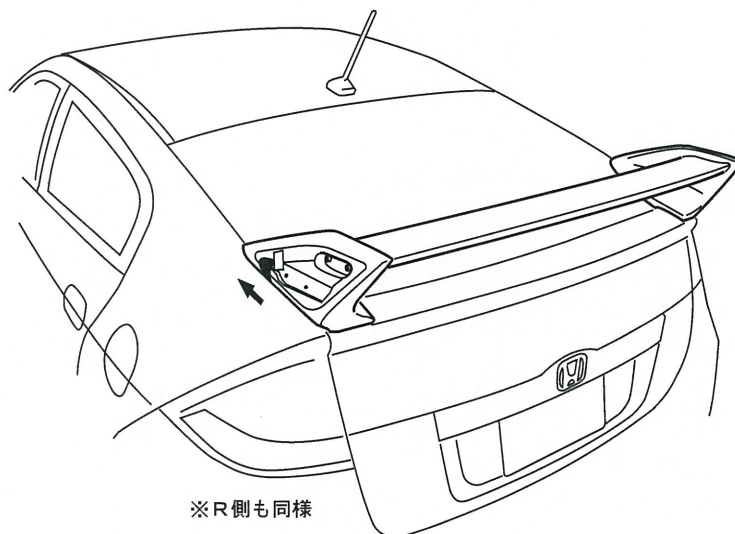


ワッシャー
ボルト
M6×20



本締め時トルク
9.8 N・m
1.0 kgf・m

- ④取付け位置を再度確認し、離型紙を→の方向へ引き抜くように剥がし、テープ全面を確実に圧着する。
③で取り付けしたワッシャーボルトCを緩め、貼付け後20分以上放置する。



※リア ウィング脚裏の両面テープとガラス面の合いを十分確認してから圧着を行うこと。
合わない場合は、I-⑦を参考に、再度調整を行うこと。

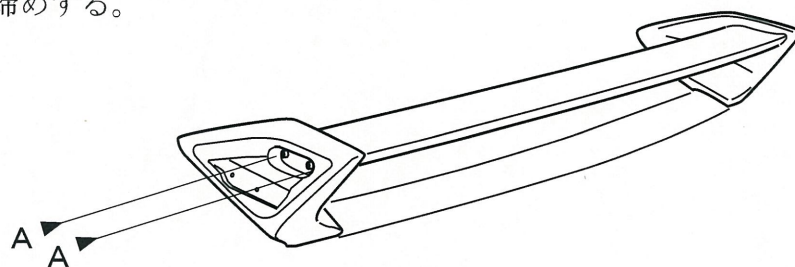
※圧着不足は、リア ウィングの浮き剥がれの原因となるので、確実に圧着すること。

⑤ キャップボルトAを本締めする。

A (4)



キャップ
ボルト
M6×15



※R側も同様

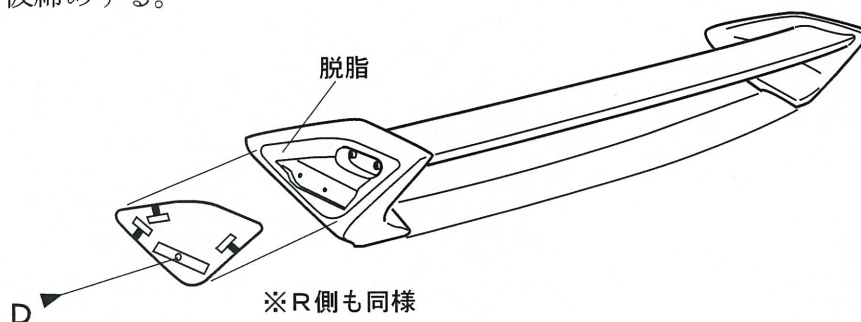
本締め時トルク
7.8 N・m
0.8 kgf・m

⑥ サイドカバーの貼付け面を脱脂し、サイドカバーを仮付けする。
トラスボルトDを仮締めする。

D (2)

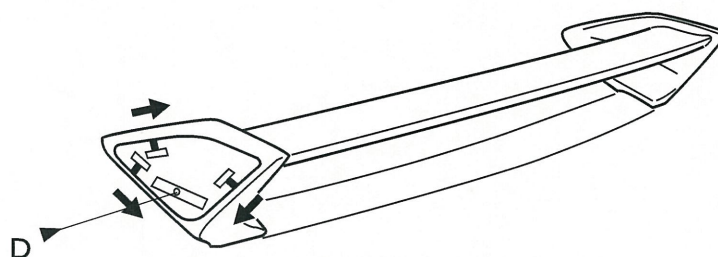


トラス
ボルト
M4×10



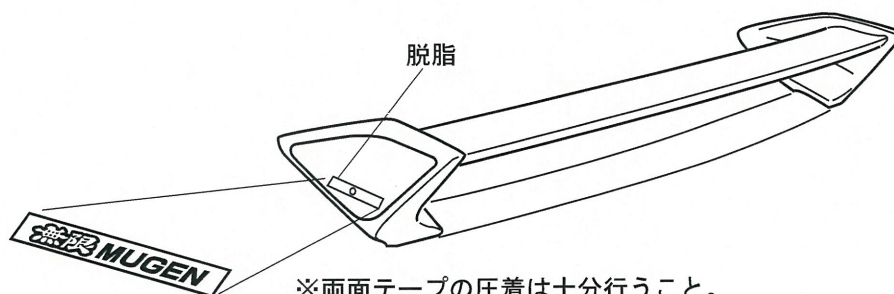
※R側も同様

⑦ 取り付け位置を確認し、離型紙を→の方向に引き抜くように剥がし圧着する。
トラスボルトDを本締めする。



※両面テープの圧着は十分行うこと。
※R側も同様

⑧ 貼付け面を脱脂して、無限メタルエンブレムを貼り付ける。



※両面テープの圧着は十分行うこと。
※R側も同様

⑨ ④で緩めたワッシャーボルトCを本締めする。(本締めトルク : 9.8 N・m (1.0 kgf・m))

⑩ 各部の取付状態が完全か確認する。

リヤ ウィング穴開け用型紙

〈注意〉 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。

